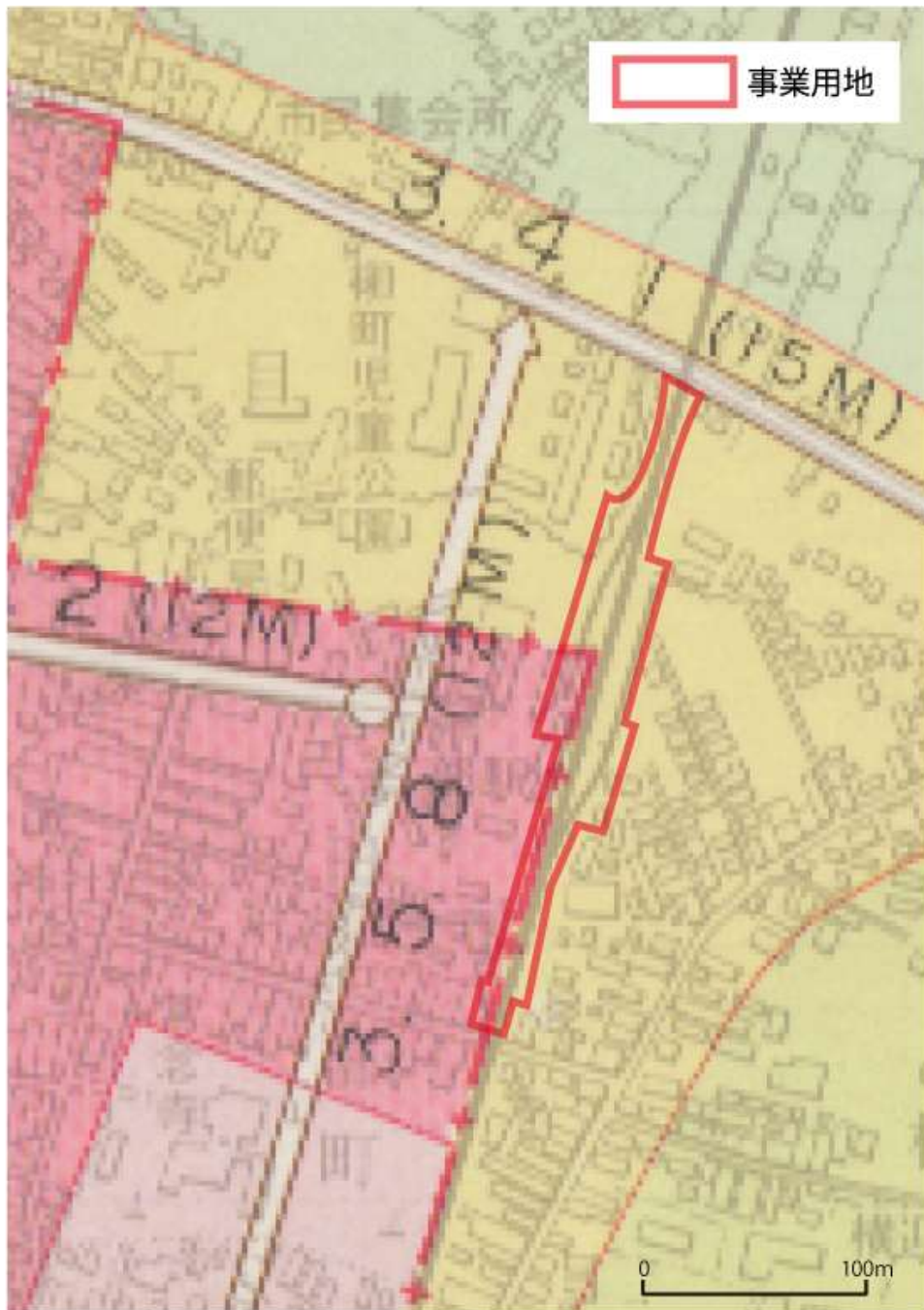


要求水準書 別添資料一覧

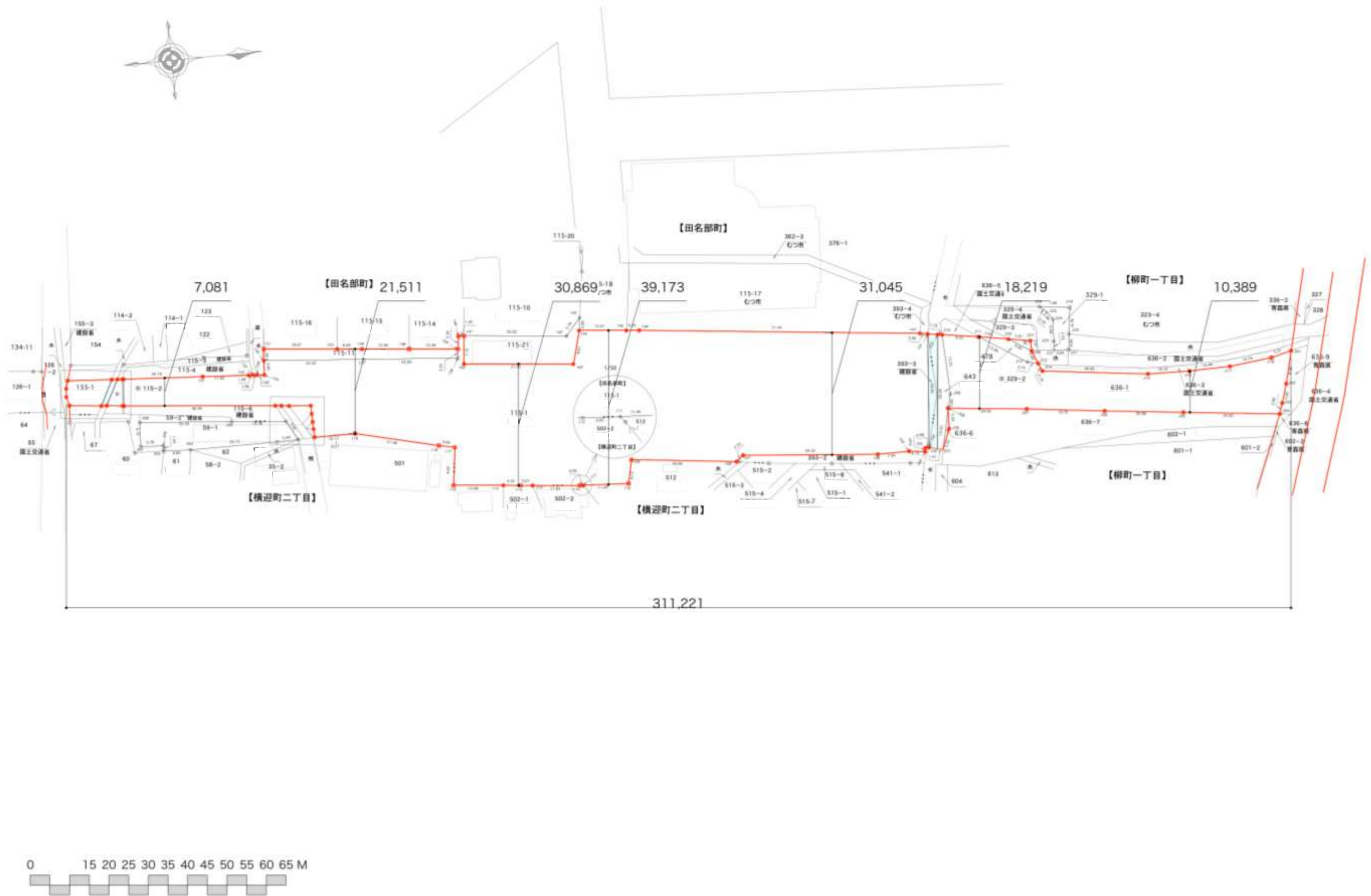
	添付資料	掲載内容	形式
別添 1	事業用地の現況	1-1 事業用地の都市計画図 1-2 事業用地の用地実測平面図（「平成 26 年度（仮称）田名部まちなか団地用地測量業務委託」より） 1-3 事業用地の現況測量図	P D F
別添 2	事業用地の地質	2 事業用地のボーリング柱状図（「平成 30 年度 まち委第 30003 号（仮称）田名部まちなか団地敷地内地質調査業務委託」より）	P D F
別添 3	既存市営住宅の状況	3 管理戸数、入居世帯数、世帯構成	P D F
別添 4	周辺道路の状況	4 事業用地周辺の認定道路路線図	P D F
別添 5	周辺の污水管の埋設状況	5 事業用地周辺の公共下水道台帳	P D F

別添 1-1 事業用地の都市計画図 (昭和 50 年 4 月 1 日付)

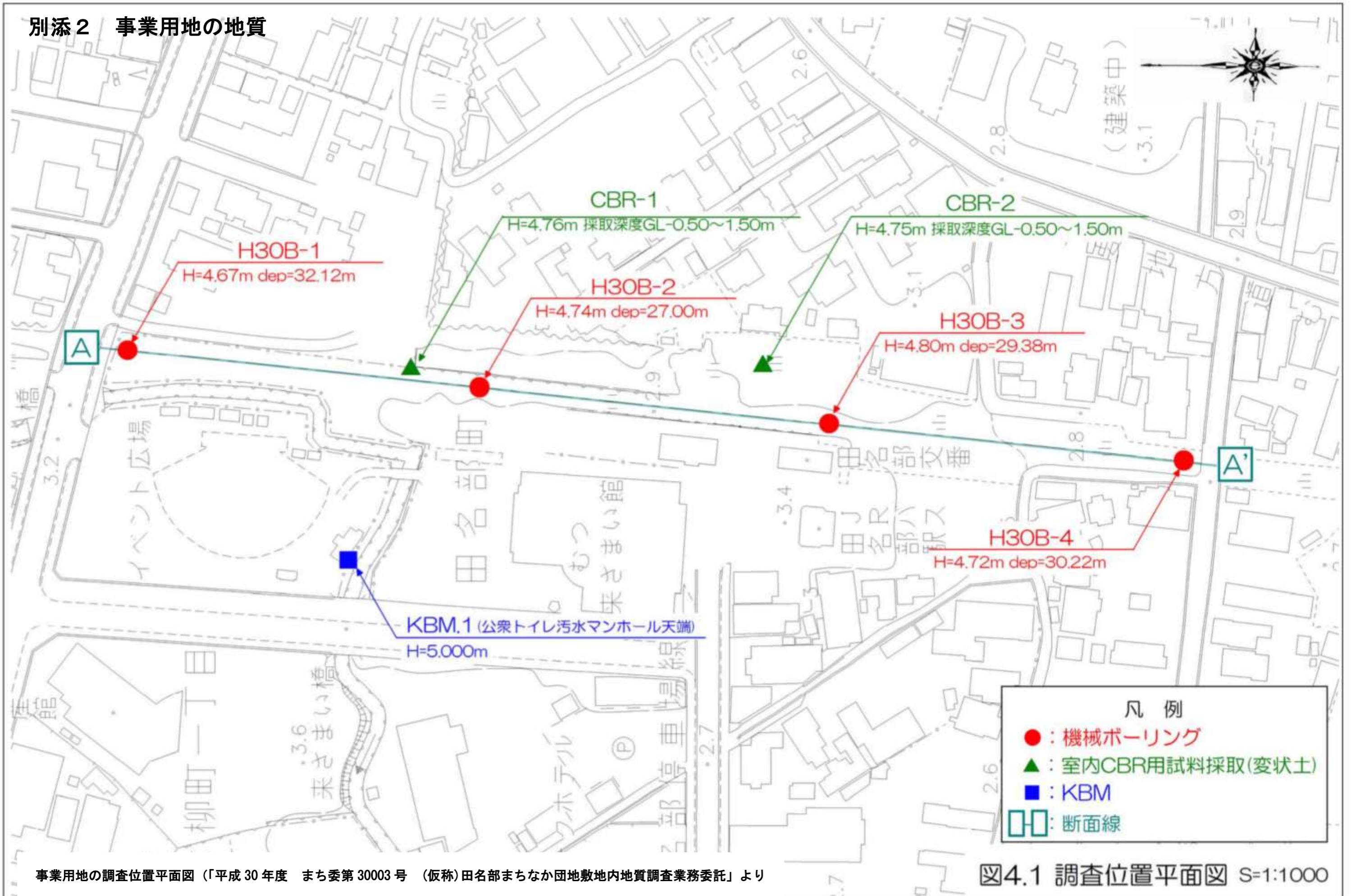


凡		例		
用途	地域	建ぺい率	容積率	備考
	第1種住居専用地域	40.50.60	60.80	
	第2種住居専用地域	60	200	
	住居地域	60	200	
	近隣商業地域	80	200	準防火地域
	商業地域	80	400	準防火地域
	準工業地域	60	200	
	工業地域	60	200	
	工業専用地域	60	200	
	都市計画道路			
	準防火地域界			

別添 1-2 事業用地の用地実測平面図（平成 26 年度（仮称）田名部まちなか団地用地測量業務委託より）



別添2 事業用地の地質



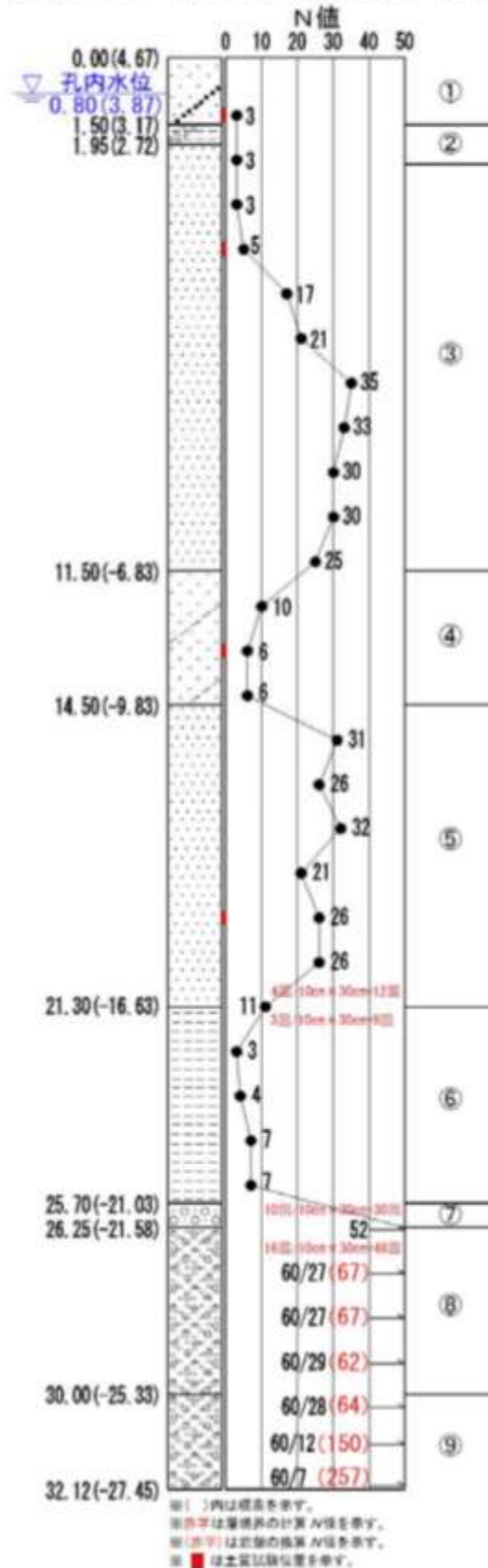
4.1 調査ボーリング結果

以下に調査ボーリング結果を示す。

①H30B-1

(地盤高H=4.67m 深度dep=32.12m)

表4.4 地盤構成



番号	主な土質・地質	深度 (m)	層厚 (m)	N値 (回)	色調	相対密度	相対稠度	特徴
①	礫混じり砂	1.50	1.50	3	暗褐灰 ~ 淡黄褐	非常に緩い		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ40mm以下の碎石とφ2mm以下の石英を混入する。 0.00~0.30m間はφ40mm以下の碎石である。 0.80~1.00m間に火山灰質粘性土を挟む。
②	有機質シルト	1.95	0.45	-	黒褐灰			全体に未分解の有機物を多く混入する。 有機臭が有る。
③	細砂	11.50	9.55	3~35	暗青灰 ~ 暗緑灰	非常に緩い ~ 密な		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 6.00~6.50m間に未分解の有機物をわずかに混入する。 9.85m付近に腐木片を混入する。 10.00m以深に貝殻片を混入する。
④	シルト混じり砂	14.50	3.00	6~10	暗青灰	緩い		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にシルト分とφ2mm以下の石英を混入する。 全体に貝殻片と砂鉄を混入する。 φ2~10mmの亜角~亜円礫と未分解の有機物および腐木片をわずかに混入する。 13.60~13.75m間にφ2~30mmの亜角~亜円礫を多く混入する。
⑤	細砂	21.30	6.80	12~32	暗緑灰	中位の ~ 密な		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 φ2~10mmの亜角~亜円礫をわずかに混入する。 18.20~18.40m間と19.50~19.80m間にφ2~10mmの亜角~亜円礫を多く混入し砂礫状を呈する。
⑥	シルト	25.70	4.40	3~9	暗青灰 ~ 暗褐灰 ~ 淡灰	軟らかい ~ 硬い		全体にほぼ均質である。 24.50~24.75m間に腐植物を多く混入する。 24.75m以深に腐植物をわずかに混入する。
⑦	砂礫	26.25	0.55	30	淡灰	中位の		全体に礫はφ2~30mmの亜角~亜円礫で構成される。 マトリックスは細砂を主体とする。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 礫の混入割合は目視で70%程度である。
⑧	角礫凝灰岩 風化部	30.00	3.75	48~60< (48~ 257)>	暗緑灰 ~ 暗褐灰			全体に固結度低く砂状コアで採取される。 全体に基質は細砂と火山灰およびφ2~10mmの角~亜角礫で構成される。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 所々棒状コアで採取される。
⑨	角礫凝灰岩	32.12	2.12	60< (64~ 257)>	暗緑灰			全体に短棒~棒状コアで採取される。 全体に基質は細砂と火山灰およびφ2~20mmの角~亜角礫で構成される。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 ハンマーで容易に割れる。 30.00~31.00mはRQD=40%(max=40cm)である。 31.00~32.00mはRQD=60%(max=34cm)である。

※赤字は層境界の計算N値を示す。
※(赤字)は岩盤の換算N値を示す。

②H30B-2

(地盤高H=4.74m 深度dep=27.00m)

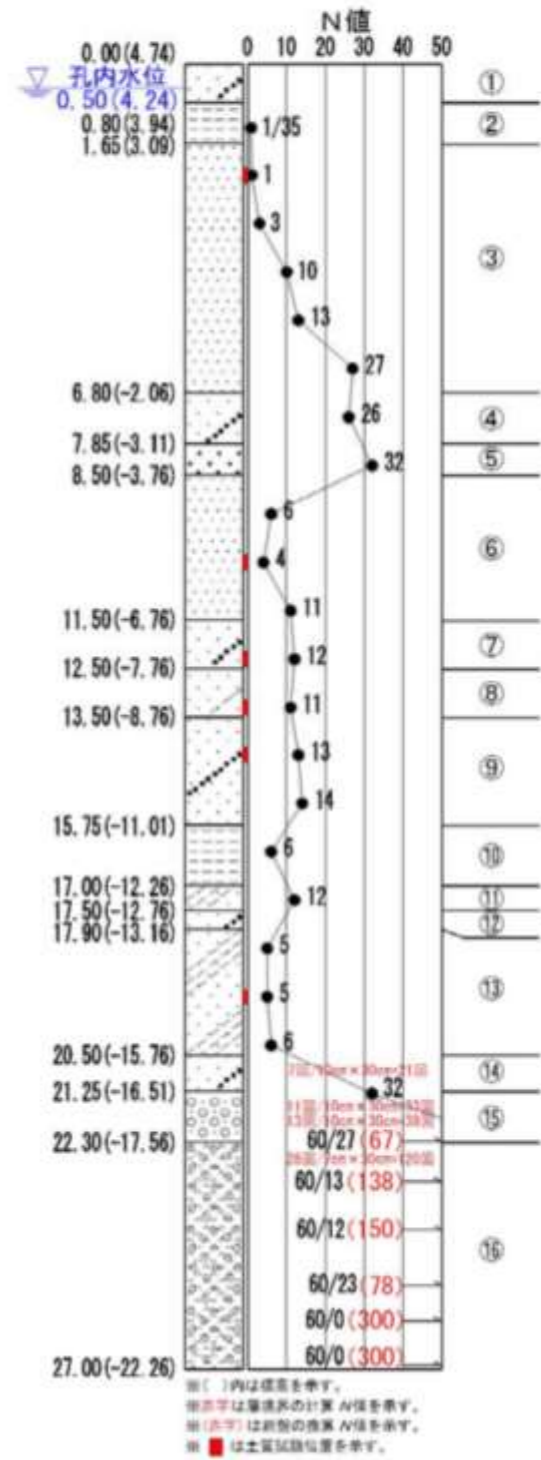


表4.5 地盤構成

番号	主な土質・地質	深度 (m)	層厚 (m)	N値 (回)	色調	相対密度	相対稠度	特徴
①	礫混じり砂	0.80	0.80	-	暗褐灰 ~ 淡黄褐			全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ40mm以下の碎石とφ2mm以下の石英を混入する。 0.00~0.30m間はφ80mm以下の碎石とする。 0.30~0.40m間にコンクリート片を混入する。
②	シルト	1.65	0.85	1	暗褐灰		非常に軟らかい	未分解の有機物と細砂をわずかに混入する。
③	細砂	6.80	5.15	1~27	暗緑灰	非常に緩い ~ 中位の		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。
④	礫混じり砂	7.85	1.05	26	暗緑灰	中位の		全体に砂は粗砂を主体とする。 全体にφ2~10mmの亜円~扁平礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。 貝殻片をわずかに混入する。
⑤	粗砂	8.50	0.65	32	暗緑灰	密な		全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 φ2~10mmの亜円~扁平礫と貝殻片をわずかに混入する。
⑥	細砂	11.50	3.00	4~11	暗青灰	非常に緩い ~ 中位の		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 シルト分と貝殻片をわずかに混入する。
⑦	礫混じり砂	12.50	1.00	12	暗緑灰	中位の		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2~30mmの亜角~亜円礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。 貝殻片をわずかに混入する。
⑧	シルト混じり砂	13.50	1.00	11	暗褐灰	中位の		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にシルト分とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。 貝殻片をわずかに混入する。
⑨	礫混じり砂	15.75	2.25	13~14	暗緑灰	中位の		全体に砂は粗砂を主体とする。 全体にφ2~10mmの亜角~亜円礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。
⑩	シルト	17.00	1.25	6	暗青灰		中位の	全体にほぼ均質である。 16.80m付近に細砂を挟む。
⑪	シルト質砂	17.50	0.50	12	暗青灰	中位の		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にシルト分を多く混入する。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。
⑫	礫混じり砂	17.90	0.40	-	暗緑灰			全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2~10mmの亜角~亜円礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。 φ2~10mmの軽石をわずかに混入する。
⑬	シルト質砂	20.50	2.60	5~6	暗褐灰	緩い		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にシルト分を多く混入する。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。
⑭	礫混じり砂	21.25	0.75	21	暗緑灰	中位の		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2~20mmの亜角~亜円礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。 21.00~21.25m間にシルト分を多く混入する。
⑮	砂礫	22.30	1.05	33~39	暗褐灰	密な		全体に礫はφ2~30mmの亜角~亜円礫で構成される。 マトリックスは細砂を主体とする。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 礫の混入割合は目視で80%程度である。
⑯	角礫凝灰岩	27.00	4.70	60< (78~ 150)	暗褐灰 ~ 褐灰 ~ 暗黄灰 ~ 暗黄褐			22.30~24.25m間は砂~礫状コアで採取される。 24.25m以深は短棒~棒状コアで採取される。 全体に基質は細砂と火山灰およびφ2~50mmの角~亜角礫で構成される。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 24.90~25.80m間にφ2~30mmの軽石を混入する。 25.80~25.95m間と26.10~26.20m間にφ100~150mmの玉石を混入する。 26.60~27.00m間にφ2~30mmの軽石を混入する。 ハンマーで容易に割れる。 24.00~25.00mはRQD=46%(max=35cm)である。 25.00~26.00mはRQD=20%(max=10cm)である。 26.00~27.00mはRQD=73%(max=46cm)である。

※赤字は層境界の計算N値を示す。
※(赤字)は岩盤の換算N値を示す。

③H30B-3

(地盤高H=4.80m 深度dep=29.38m)

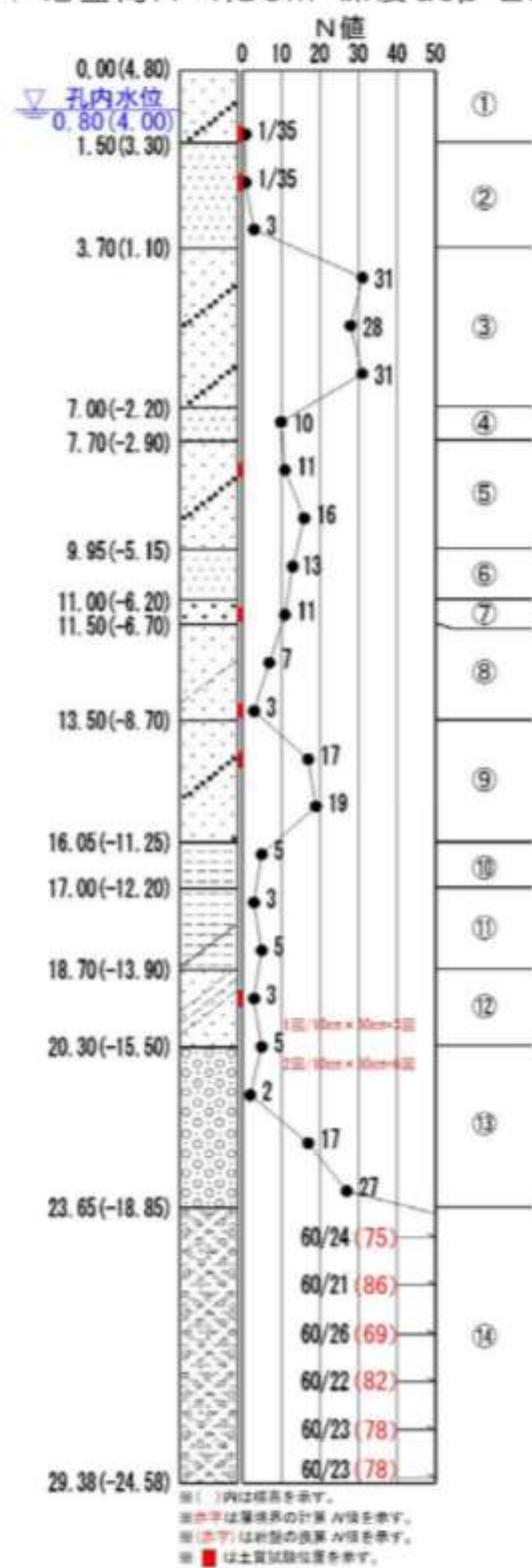


表4.6 地盤構成

番号	主な土質・地質	深度 (m)	層厚 (m)	N値 (回)	色調	相対密度	相対稠度	特徴
①	礫混じり砂	1.50	1.50	1	暗褐灰 ～ 淡黄褐	非常に緩い		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ40mm以下の碎石とφ2mm以下の石英を混入する。 0.00～0.35m間はφ80mm以下の碎石とする。 0.70～0.85m間に火山灰質粘性土を挟む。
②	細砂	3.70	2.20	1～3	暗緑灰 ～ 暗青灰	非常に緩い		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。
③	礫混じり砂	7.00	3.30	28～31	暗緑灰	中位の ～ 密な		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2～30mmの亜円～扁平礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。
④	細砂	7.70	0.70	10	暗緑灰	緩い		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 φ2～10mmの亜円礫をわずかに混入する。
⑤	礫混じり砂	9.95	2.25	11～16	暗緑灰	中位の		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2～30mmの亜円～扁平礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。
⑥	細砂	11.00	1.05	13	暗緑灰	中位の		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 φ2～20mmの亜円礫をわずかに混入する。 10.90m付近にφ40mm程度の亜円礫を混入する。
⑦	粗砂	11.50	0.50	11	暗緑灰	中位の		全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 φ2～5mmの亜角～亜円礫をわずかに混入する。
⑧	シルト混じり砂	13.50	2.00	3～7	暗青灰	非常に緩い ～ 緩い		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にシルト分とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。 貝殻片をわずかに混入する。
⑨	礫混じり砂	16.50	3.00	17～19	暗緑灰	中位の		全体に砂は粗砂を主体とする。 全体にφ2～30mmの亜角～亜円礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。 15.70m以深の砂は細砂を主体とする。
⑩	シルト	17.00	0.50	5	暗青灰		中位の	全体にほぼ均質である。 未分解の有機物をわずかに混入する。
⑪	砂混じりシルト	18.70	1.70	3～5	暗青灰		軟らかい ～ 中位の	全体に細砂を混入する。 未分解の有機物をわずかに混入する。 下方に従い砂分が多い。
⑫	シルト質砂	20.30	1.60	3	暗青灰	非常に緩い		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にシルト分を多く混入する。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。
⑬	砂	23.65	3.35	2～27	暗青灰	非常に緩い ～ 中位の		全体にφ2～40mmの亜角～亜円礫で構成され最大φ50mm程度である。 マトリックスは細砂を主体とする。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 20.85～21.10m間に有機質シルトを挟む。 21.10～21.50m間は礫分が少なく細砂状を呈する。 23.50～23.65m間はシルト分が多く混入しシルト混じり砂礫状を呈する。
⑭	角礫凝灰岩	29.38	5.73	60< (69～86)	暗緑灰 ～ 淡緑灰			23.65～24.85m間は砂～礫状コアで採取される。 24.85m以深は短棒～棒状コアで採取される。 全体に基質は細砂と火山灰およびφ2～10mmの角～亜角礫で構成される。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 23.65～24.60m間にφ2～20mmの軽石を混入する。 23.80～24.60m間と26.40～26.80m間および27.60～29.00m間は礫の混入が少なく砂岩状を呈する。 ハンマーで容易に割れる。 24.00～25.00mはRQD=14%(max=14cm)である。 25.00～26.00mはRQD=49%(max=36cm)である。 26.00～27.00mはRQD=36%(max=36cm)である。 27.00～28.00mはRQD=69%(max=45cm)である。 28.00～29.00mはRQD=60%(max=60cm)である。

※赤字は層境界の計算N値を示す。
 ※(赤字)は岩盤の換算N値を示す。

④H30B-4

(地盤高H=4.72m 深度dep=30.22m)

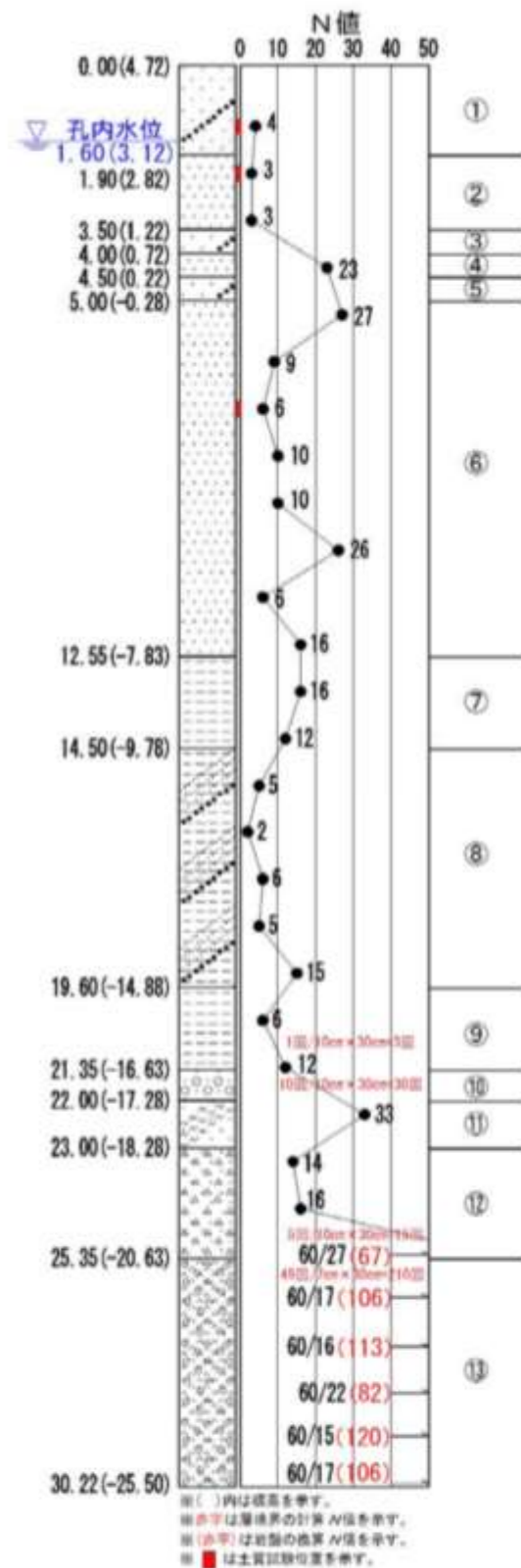


表4.7 地盤構成

番号	主な土質・地質	深度 (m)	層厚 (m)	N値 (回)	色調	相対密度	相対稠度	特徴
①	礫混じり砂	1.90	1.90	4	暗褐灰 ～ 淡黄褐	非常に緩い		全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ40mm以下の碎石とφ2mm以下の石英を混入する。 0.00～0.25m間はφ40mm以下の碎石する。 0.00～0.40m間に草根を混入する。
②	細砂	3.50	1.60	3	暗緑灰	非常に緩い		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。
③	礫混じり砂	4.00	0.50	-	暗青灰			全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2～30mmの亜円～偏平礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。
④	細砂	4.50	0.50	23	暗緑灰	中位の		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。
⑤	礫混じり砂	5.00	0.50	-	暗青灰			全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2～30mmの亜円～偏平礫とφ2mm以下の石英および砂鉄を混入する。
⑥	細砂	12.55	7.55	6～27	暗青灰 ～ 暗緑灰	緩い ～ 中位の		全体に粒子はほぼ均一である。 全体にφ2mm以下の石英と砂鉄を混入する。 7.60～7.90m間に未分解の有機物と腐木片を混入する。 11.00m以深に貝殻片をわずかに混入する。
⑦	シルト	14.50	1.95	12～16	淡緑褐 ～ 淡緑灰		硬い ～ 非常に硬い	全体にほぼ均質である。 粘性が強い。
⑧	礫混じり砂質シルト	19.60	5.10	2～15	淡褐灰		非常に軟らかい ～ 硬い	全体に細砂を多く混入する。 全体にφ2～30mmの亜角～亜円礫を混入する。 φ2～20mmの軽石をわずかに混入する。 17.75m付近にφ50mmの軽石を混入する。 18.80～19.00m間に暗緑色の細砂を挟む。
⑨	シルト	21.35	1.75	3～6	暗褐灰		軟らかい ～ 中位の	所々未分解の有機物を多く混入する。 有機臭が有る。
⑩	砂礫	22.00	0.65	30	暗青灰	中位の		全体に礫はφ2～40mmの亜角～亜円礫で構成される。 マトリックスは細砂を主体とする。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 礫の混入割合は目視で70%程度である。
⑪	火山灰質砂	23.00	1.00	33	暗緑灰	密な		角礫凝灰岩の風化部である。 全体に砂は細砂を主体とする。 全体に火山灰を多く混入する。 全体にφ2mm以下の石英とφ2～20mmの軽石を混入する。
⑫	軽石質砂	25.35	2.35	14～16	暗緑灰 ～ 淡緑灰	中位の		角礫凝灰岩の風化部である。 全体に砂は細砂を主体とする。 全体にφ2～20mmの軽石を多く混入する。 全体にφ2mm以下の石英と火山灰を混入する。
⑬	角礫凝灰岩	30.22	4.87	60< (82～ 210)	淡緑灰			全体に短棒～棒状コアで採取される。 全体に基質は細砂と火山灰およびφ2～10mmの角～亜角礫で構成される。 全体にφ2mm以下の石英を混入する。 25.35～26.75m間にφ2～5mmの軽石を混入する。 25.35～26.75m間と27.90～28.75m間および29.35～29.55m間は礫の混入が少なく砂岩状を呈する。 ハンマーで容易に割れる。 24.00～25.00mはRQD=57%(max=19cm)である。 25.00～26.00mはRQD=37%(max=23cm)である。 26.00～27.00mはRQD=23%(max=13cm)である。 27.00～28.00mはRQD=53%(max=21cm)である。 28.00～29.00mはRQD=48%(max=23cm)である。

※赤字は層境界の計算N値を示す。
※(赤字)は岩盤の換算N値を示す。

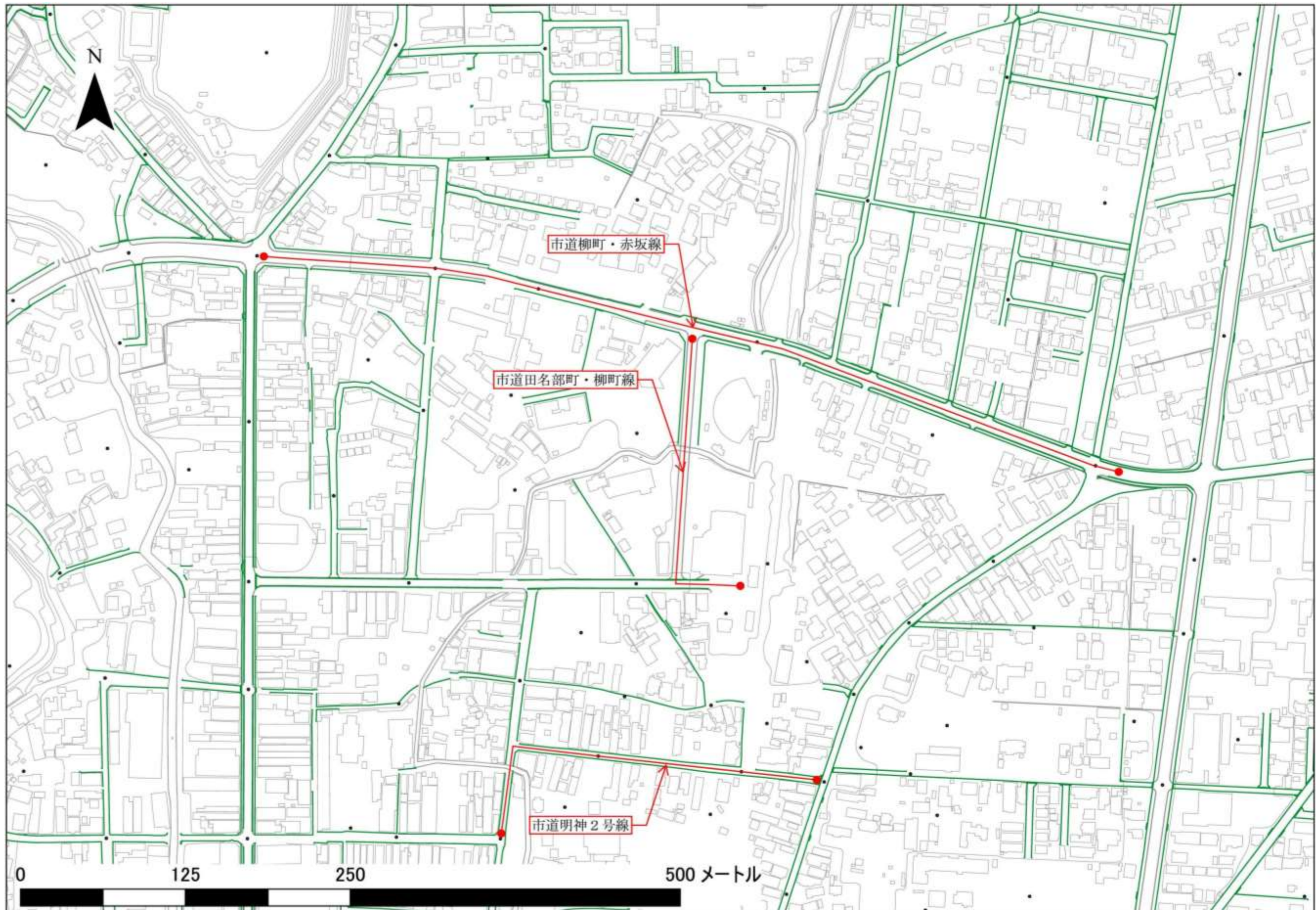
別添3 既存市営住宅の状況（管理戸数、入居世帯数、世帯構成）

既存市営住宅の状況

令和2年9月1日現在

団地名	種別	構造	竣工年度	内 訳		管理戸数	入居戸数	入居率	政策空家戸数	政策空家を除く戸数	入居戸数	政策空家を除く入居率	単身入居		2人		3人	4人以上										
				棟数	戸数								65歳以上	戸数	65歳以上													
桜木町	公営	CB造 2階建	昭和47年度	2	10	22	0	0.00	10	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0									
	公営	CB造 2階建	昭和48年度	2	12															12	0	0	0	0	0	0	0	
桜木町東	公営	木造 平屋建	昭和39年度	12	12	13	3	23.07	9	3	3	100.00	3	3	0	0	0	0	0	0								
	単独	木造 平屋建	昭和42年度	0	0																0	0	0	0	0	0	0	0
	単独	木造 平屋建	昭和47年度	1	1																1	0	0	0	0	0	0	0
大湊上町	公営	木造 平屋建	昭和36年度	14	14	28	9	32.14	10	9	9	100.00	7	4	2	1	0	0	0	0								
	公営	木造 平屋建	昭和37年度	14	14																9	0	0	0	0	0	0	
文京町	公営	木造 平屋建	昭和38年度	20	20	20	16	80.00	4	16	16	100.00	13	13	2	2	1	0	0									
山田町	公営	木造 平屋建	昭和39年度	7	12	19	16	84.21	3	16	16	100.00	14	11	2	0	0	0	0	0								
	公営	木造 平屋建	昭和40年度	4	7																0	0	0	0	0	0	0	
金曲	公営	木造 平屋建	昭和38年度	20	20	20	8	40.00	12	8	8	100.00	5	3	3	1	0	0	0									
品ノ木	公営	木造 平屋建	昭和40年度	18	18	51	26	50.98	11	26	26	100.00	23	16	1	0	2	0	0	0								
	公営	CB造 平屋建	昭和43年度	7	20																8	0	0	0	0	0		
	公営	CB造 平屋建	昭和44年度	7	13																6	0	0	0	0	0		
奥内	公営	CB造 平屋建	昭和44年度	2	8	8	4	50.00	4	4	4	100.00	2	0	1	1	0	0	1									
桧川	公営	CB造 2階建	昭和53年度	2	5	5	2	40.00	3	2	2	100.00	2	2	0	0	0	0	0									
宿野部	公営	CB造 2階建	昭和49年度	1	5	5	0	0.00	5	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0									
				133	191	191	84	43.97	107	84	84	100	69	52	11	5	3	1										

別添4 周辺道路の状況（事業用地周辺の認定道路路線図）



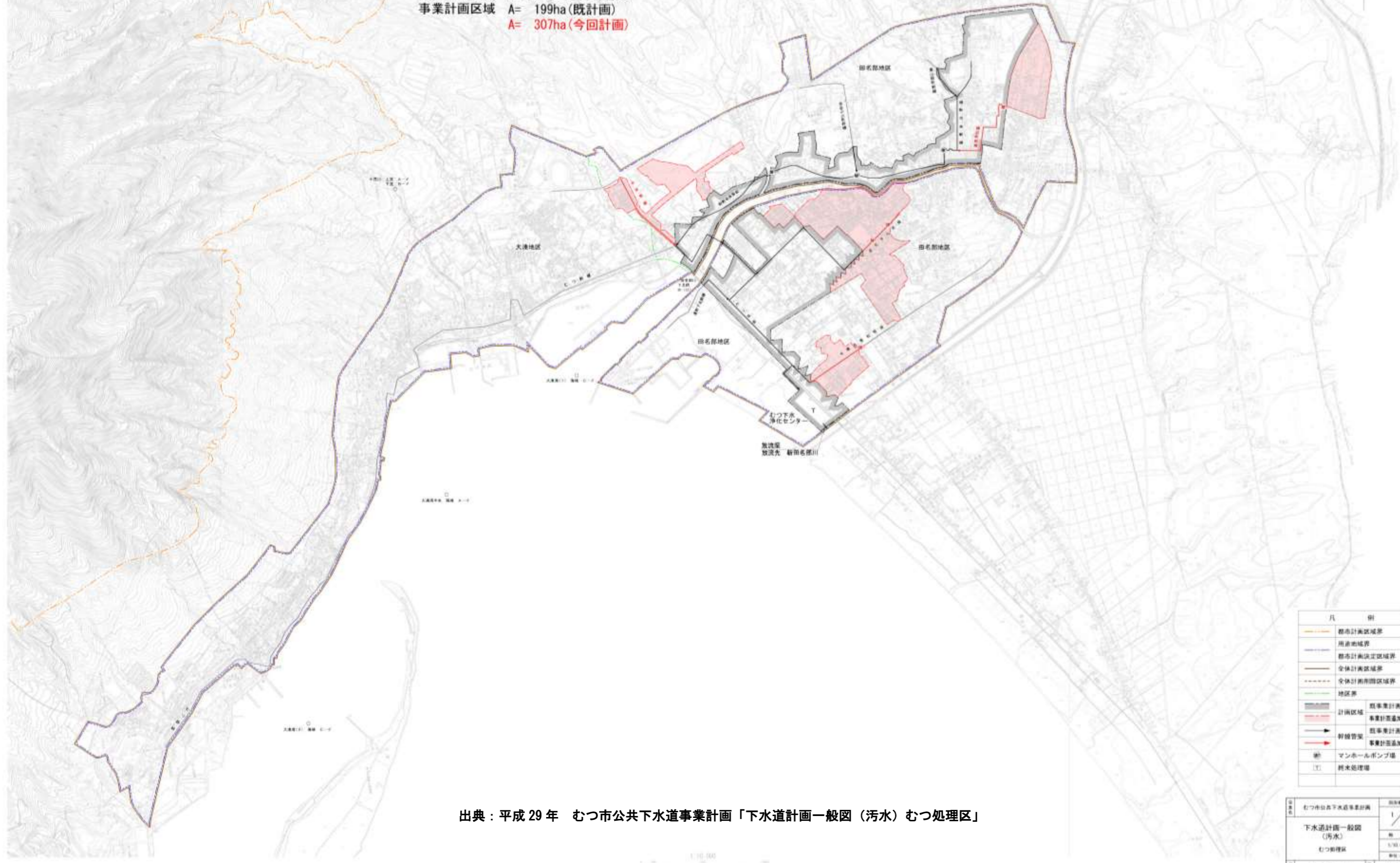
別添5 周辺の污水管の埋設状況

(事業用地周辺の公共下水道台帳)

むつ市公共下水道 計画一般図

むつ処理区

全体計画区域 A=1,280ha(今回計画)
 事業計画区域 A= 199ha(既計画)
 A= 307ha(今回計画)



凡 例	
	都市計画区域界
	用途地域界
	都市計画決定区域界
	全体計画区域界
	全体計画用途区域界
	地区界
	既事業計画 計画区域
	事業計画追加
	既事業計画 幹線管渠
	事業計画追加
	マンホールポンプ場
	終末処理場

出典：平成 29 年 むつ市公共下水道事業計画「下水道計画一般図（污水）むつ処理区」

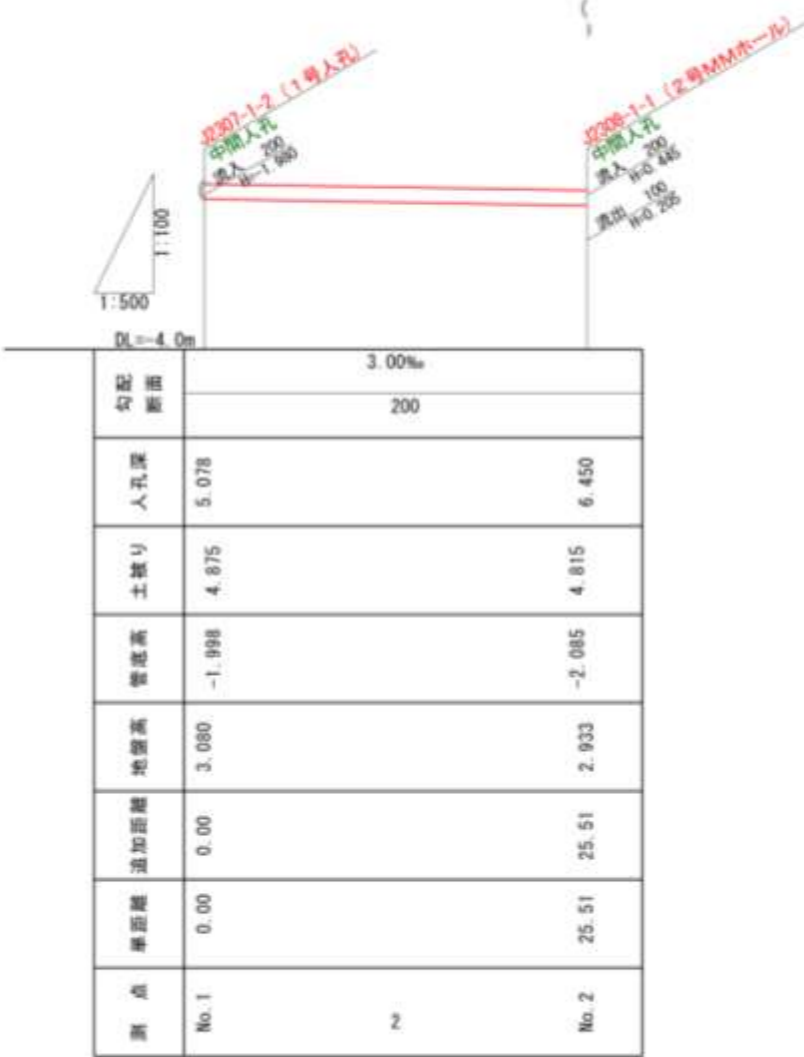
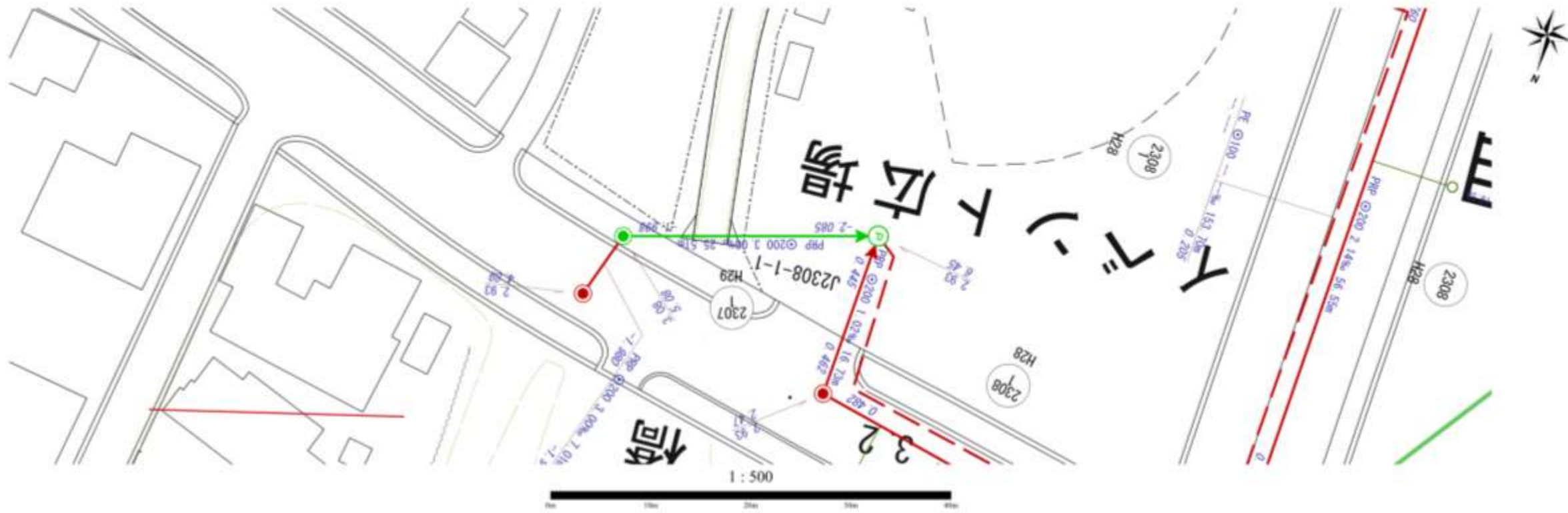
図名	図号
むつ市公共下水道事業計画	1/9
下水道計画一般図 (污水)	第 1 頁
むつ処理区	1/9, 10
作成	平成 29 年 6 月

下水道台帳図



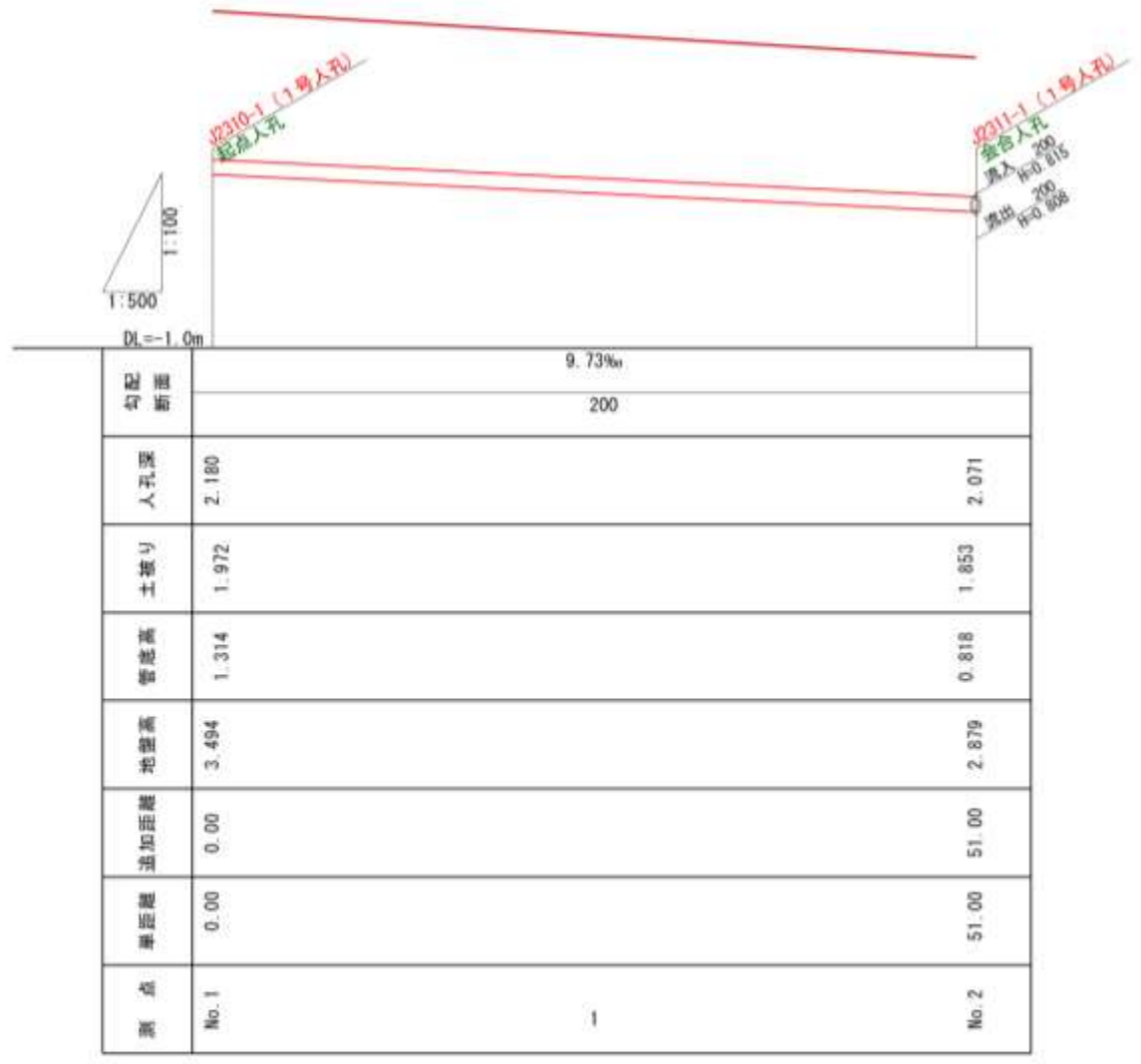
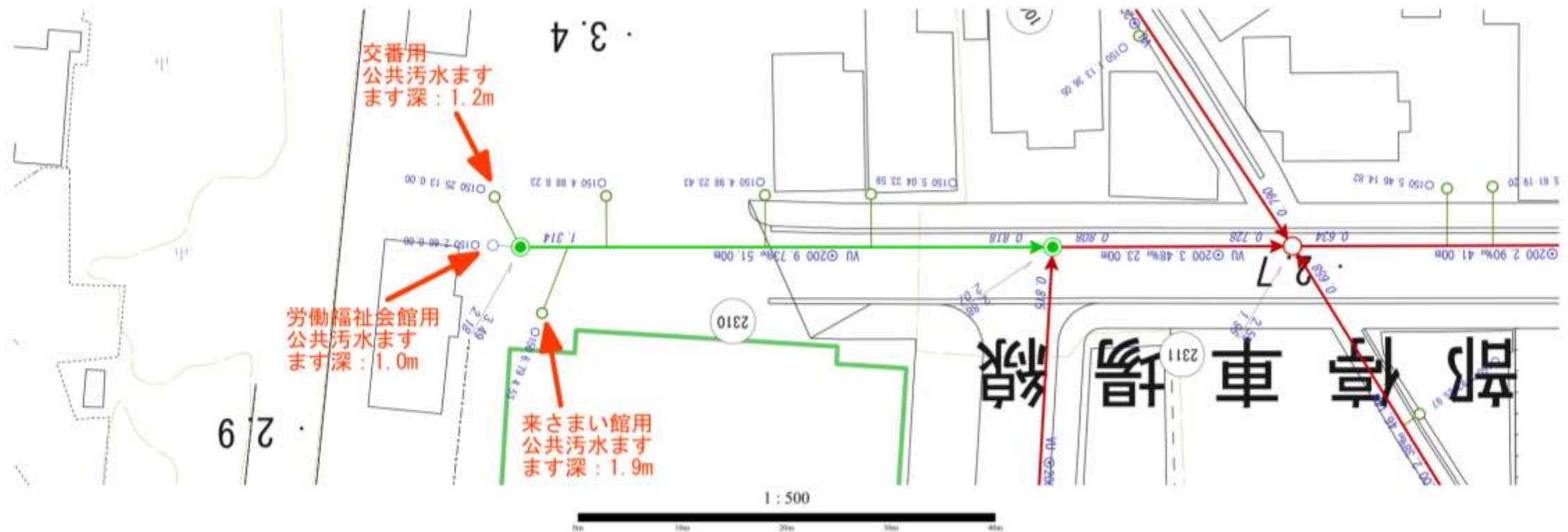
別添 1-3

下水道台帳 縦平面図①



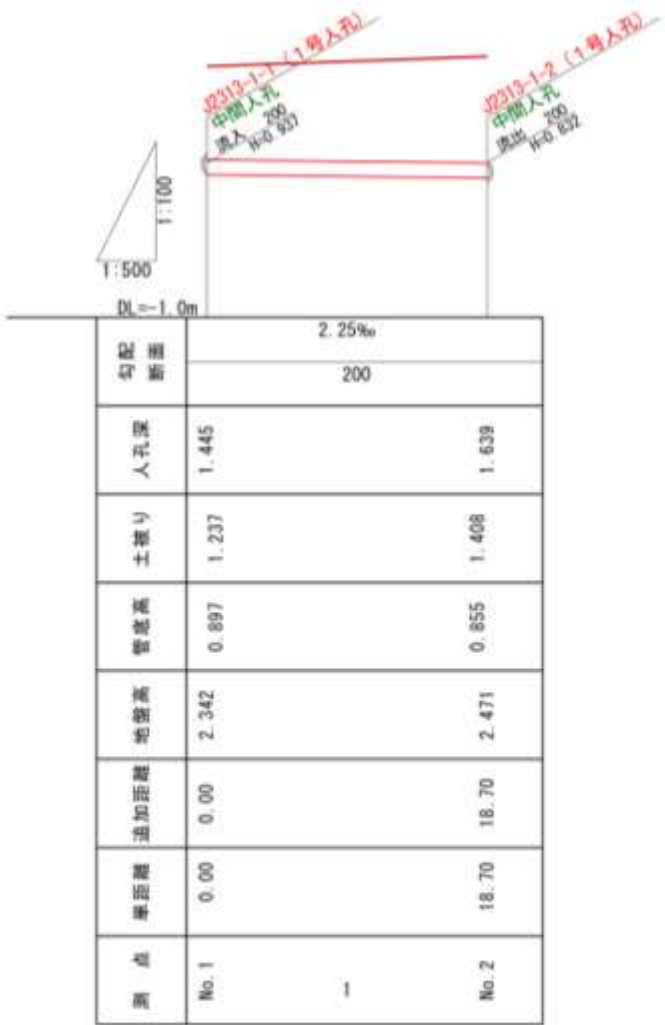
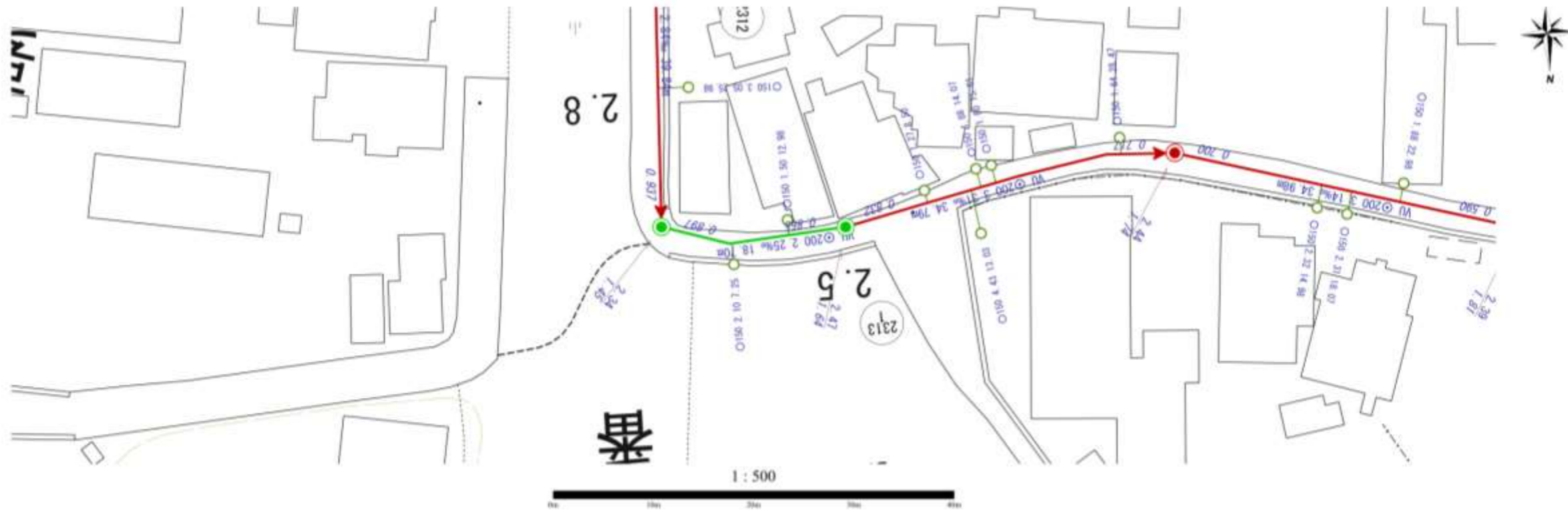
下水道縦平面図

下水道台帳 縦平面図②



下水道縦平面図

下水道台帳 縦平面図③



下水道縦平面図